感染看護学	2年・前期	1単位	教授 千明 政好　他
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34121152

１．授業のねらい・概要

感染のメカニズムおよび感染看護の意義理解し，感染対策・感染管理・感染看護に必要な知識を習得する。

２．到達目標

１．感染のメカニズムを理解できる。
２．感染防御の基本的対策が理解できる。
３．職業感染防止への対応を理解できる。
４．処置別感染対策の必要性が理解できる。
５．B 型肝炎の感染経路を理解すると共に、患者講義で、罹患した患者や家族の気持ちを理解し、患者に寄り添う心を養う。

３．授業の進め方

講義とグループワークを中心に授業を進める。

４．授業計画（講義）

１．感染予防のための基礎知識
２．洗浄・消毒・滅菌と医療廃棄物
３．薬剤耐性菌対策・手指衛生
４．職業感染防止への対応１（麻疹・風疹・水痘・ムンプス・インフルエンザ)
５．職業感染防止への対応２（結核・消化器感染症：ノロなど、肝炎）
６．針刺しおよび血液・体液暴露防止と医療関連感染サーベイランス
７．B 型肝炎について
８．まとめと試験

５．成績評価の方法・基準

定期試験(100％)で評価する。

６．テキスト・参考文献

洪愛子（2013）　院内感染予防必携ハンドブック第 2 版 中央法規出版

７．準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

事前学習として，　授業計画に該当する部分(テキスト)を 30 分程度読んでおくこと。

８．受講上の留意事項　（先修条件がある場合は８．に記入する）

シラバス該当範囲の知識に関して十分に準備して臨むこと。

９．課題に対するフィードバックの方法

指示した課題は教員が内容をチェックして返却する。内容の不備なものは再提出を求める。
定期試験の解答は試験後口頭または掲示でフィードバックする。

10．卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

選択科目であるが、看護師に必要な知識なので受講することが望ましい。

11．実務経験のある教員等による授業科目

担当する教員は看護師として 20 年以上の臨床経験を持つ。